

# 随 想



カット／滑川 秀和

## キタノ カルチャー

三浦 明定

△英国館・クイーンズコートオーナー▽

子供の遊びとまで酷笑された異人館通りのショッピングモール造りは1976年に40坪のキングスコートから始まり、「風見鶏ブーム」も手伝って点、線、面に広がって行った。私の記憶が確かであれば当時、北野、山本地区にはタバコ屋、雑貨屋などの日常生活型の店舗が27軒であった。それから5年、今の異人館通りを中心として150店舗ものファッションを主とした、若いショッピングキーパーがこの街にチャレンジしている。

ひと頃、素人の集りの様に言われた商店経営者も最近ではプロのデベロッパーや、東京からの有名

店の進出も確定しており、北野、山本地区の素晴らしい情緒空間は、これ等の投資家のターゲットとなり、埋めつくされて行くのもそう遠くない街の姿様だろう。勿論こんな傾向を心配している人も多くいる。しかし世界の多くの観光地は「幸か不幸か」旅人の目的の中に「買物」と言う行為が大きくウェイトを占めていて物をハントするのも旅を楽しく過す一つの要素らしい。時には観光資源そのものがごく僅かで周囲の商店それ自体が個性や美観を大切にして街の演出家となり、ユニークな観光地として繁栄している街が多く出現して来ている。特に地方都市はこのタイプであったのは今回の世界一周旅行で見聞した成果だった。しかしそれらの外国ではその商店経営者や地区住民は残り少ない観光

資源を懸命に保存し、掘り起し、再生利用することに手を貸す事を惜しんでいない。必要とあれば人力や金銭まで供出し、地区資源（観光）いや社会資本の充実を自ら計り、行政だけに頼る事なく努力しているのに感動した。

この北野、山本地区も景観条例や伝建地区として指定されたのだから、せめて、昔、隣り近所で自分の家の前に打水をしたあの生活心情を思い出し実行したい。そして又欧米の観光地ではどんな小都市でも「文化の香り」と言うよりも大小の文化的な催しが絶えずあって、有、無償のイベントに出くわし、その街の文化に接し、より、一層忘れたい極めて印象深い旅にしてくれる。もうそろそろこの街にも文化が香つても良さそうである。市立の南蛮美術館がトーマス邸などの異人館に移転されたらどれ程、神戸らしいだろう。そして絵画、彫刻、音楽などの芸術を



北野国際まつりの仕掛人  
左からJ・グラックさん、佐藤富司、三浦さん

# 夢を追いかけて

竹内 智子

△家事手伝い△



だったのに調べてみれば「へエ」と驚くことばかり、改めてふるさとの懐の深さを実感したのです。

この感動を伝えたい、そんな気持ちで選んだ、言わば私なりの兵庫のエッセンスは、全部で二十八編。古い歴史と豊かな風土に育まれて、ロマンティックな恋物語や戦記物、笑い話、怪談、神話等々、バラエティーに富んでいます。

これらのお話で白いマス目を埋めていると、何年先のことがわからないけれど、いつか私も嫁に行って、「お母さん」と呼ばれるようになったら、話してあげたいな」と、楽しい想像が胸一杯に広がりました。

それだけではありません。夢に夢を重ねて、「ファッション都市・神戸」「異人館のある街・神戸」「ポートピアの神戸」を見に来て下さるお客様にも「こんなに床しい神戸」も知ってもらえればいいなとまで思っていました。

それでは、そんなに沢山の思いを込めた肝心のお話の出来具合はどうでしょうか？ キッチンと活字になって居ずまいを正している文を冷静に読み直してみると、やはりまだ、どうも…舌足らずみたいで：今頃になって、書くことのむずかしさ、怖さが、じわじわと押し寄せて来る気がします。オリジナルとは違い、誰にでもできるリ

先兵に新しい「キタノカルチャー」の生れる事を私は夢見たい。私共の英国館でも不定期だが、音楽会などの実験を試みている。

この夏諸外国人に北野町の天満宮の夏祭りに参加を呼びかけ、宮司の理解もあって「北野国際祭り」の草案とプロデュースをして見たら、なんと13カ国、230人の外国の方々と日本の皆さんの参加で、バザー40店や奉納ダンス、音楽、絵馬、お茶、生け花、ゲーム、盆踊り、デイスコ等々催し物のあつた二日間の祭りを諸氏の無料奉仕の参加で無事終えた。

汗を拭きながら見物に来る異人館は確かに個人の所有物であるが、もはやそれは市民の大切な資源の一つ、素通り観光の街から、一向に衰えない観光地と変貌し、年毎に定着化して来て、今年は特に博覧会の大成功も手伝って、北野町は人、人の波、騒る事なく、喰い飽す事なく、必要な新しく作り、演出をして、21世紀に向っての遺産を残せる街となって欲しい。8月1日より「北野、山本地区を守り育てる会」が住民主体で出来た。住民が直接間接的に参加、コミット出来る場がある事は大変嬉しいことである。それにしても近頃小路にまでも露天商が出てどこかの観光地と変わらなくなって来たのも赤信号のきざしかも……？

むかしむかし、あるところに：幼い頃の、耳に馴染んだやさしい語り口。甘いミルクの味にも似た想い出を、心の隅っからするすると引き出してくれる魔法の言葉が、私は今でも大好きです。でも、その「好き」が絵本を書くきっかけになるなんて、誰が予想したでしょう。

一昨年、父のお友達が出版のお仕事を手がけられ、絵本や民話、民芸品好きな私に、絵本を作る機会を突然下さったのです。詩や文章を書いたことはあっても、児童文学や人文地理とは殆んど縁がなかった私にとっては、生まれて始めての経験でした。

しかし、とにかく無我夢中でまとめた「京都のむかし話」が、小さなお土産として意外にも好評だったお陰で、今度は東京の蝸牛社から原稿依頼が来ました。舞台は兵庫です。「神戸生まれの神戸育ち、地元のことなら任せておいて！」と思ったのは大間違い。たいていのことなら知っているつもり

ライトだけに、その恐ろしさは二倍かもしれません。

でも、こんな世界に迷い込んだのも何かの縁。この反省を足掛かりに、できればもう一步、進んでみたい、もう少しだけ良いものを書きたい、なんてまたまた次の資料集めを始めた。本箱の中で、いかにも肩身の狭そうな赤い背表紙を横目で見ながら……

★絵本・兵庫のむかし話 編牛社発行  
1,300円 A5判

## 紳士諸君！ 勇気をもって タキシードを

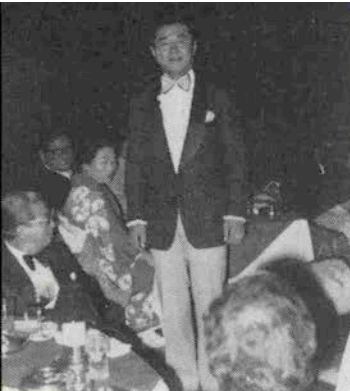
田中 謙司

△服飾デザイナー△

「タキシード・パーティ？」

「そんなん、タキシード着てホテルへ行ったらボーイさんと間違われるやないか」

ぼくたちが神戸でタキシードパーティをやるやないかと、紳士服仲間が集まり「ヌーベル・ソワレ」の会にお客様をお誘いすると必ず初めにこの言葉が返ってきた



外国倶楽部で開かれた  
第2回タキシードパーティのタペ

タキシードを着るだけで、ぱつとひきしまった感じになって、男の緊張感がみなぎる。

いいんだな。このキリッとしたメンズモードの醍醐味を、どうしてみんなは邪魔くさがり、メンディークさがって味あわないのだろう大阪では、早くからタキシードパーティが開かれていた。タキシードを作って着ても行くところがない。フアッション都市神戸が泣くそこで第1回のヌーベル・ソワレは、2年前の昭和54年10月に、北野クラブで開かれた。

同志は、飯島祺雄（紳士服飯島）

上田貞雄（テラーウエダ）横川美佐

男（テラー横川）横山忠世（テラー

横山）大和田幸次郎（テラー大和田）

樹田晃司（テラーマスダ）中島正義

（テラー中島）そしてぼくというメンバーだ。一年がかりの準備のせいか、湯井一葉さんのシャンソン

ショー、ぼくたちのタキシードシヨア、ダンスタイムなどの内容で150人が集まる大盛況ぶりに、太

いに気をよくしたものだ。まだその頃は、オーソドックス・スーツの人も多かった。第2回は昨年12月、神戸外国倶楽部で開いたが、

クリスマスと忘年会シーズンが重なったので出席者は100人弱。でもタキシードの主旨は浸透して全体に多くなり、すてきなタキシード姿の紳士達を、パートナーと共にス

テージで紹介した。

いよいよ今年は第3回。オリエンタルホテルで、10月16日に開催する。ぼくたちも販売促進をかねているのだから、タキシードをご注文の方はご招待する。固苦しい純粹のフォーマルよりフアッション性のあるディナージャケットをデザインして着てほしい。

今回はオリエンタルホテルとの共催から250/300人は集まってほしいので目下、大わらわである。できれば年に何回か開いて、第3日曜は、オリエンタルホテルのワンフロアをあけて、タキシードで集まり、一杯飲みたいし、婦人服の人々にも協力していただいて、ロングドレスのレディと共におしゃれで粋なパーティに成長させたい。

というぼく達といえば、世話役なものだから、こうやったらどうだろうとか、あーやればとてんてこ舞いで實際楽しむところまでは行っていないというのが実状だ。

でも、ご夫婦揃いでタキシードにロングの方が多いので、何より嬉しい。まだまだぼくたちのやっていることは微力でスプーン一杯のことぐらしか出来ていないが神戸中の人が参加してほしい。そして、

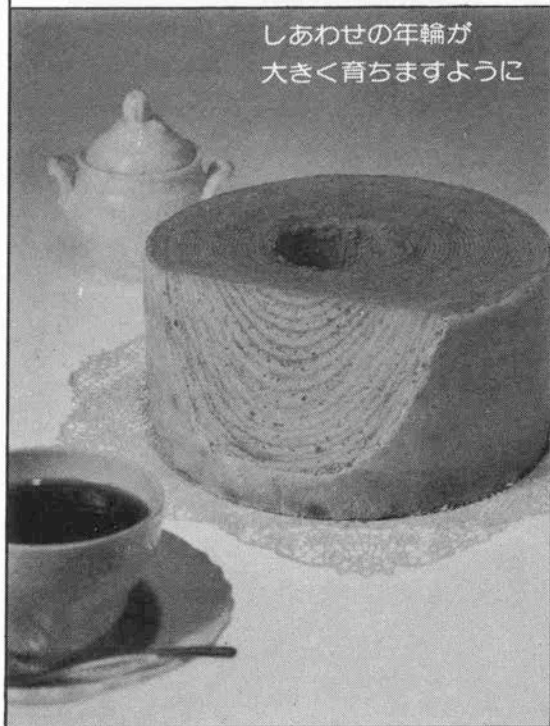
紳士諸君よ。勇気を持ってタキシードを着よう……と。

★ヌーベル・ソワレのついで10月16日（金）7PM〜10PMオリエンタルホテル2F  
会費/13,000円 詳しくは事務局  
078-(361)4390



# 大きく育った 味の年輪

しあわせの年輪が  
大きく育ちますように



バウムクーヘン ¥700~¥3,000

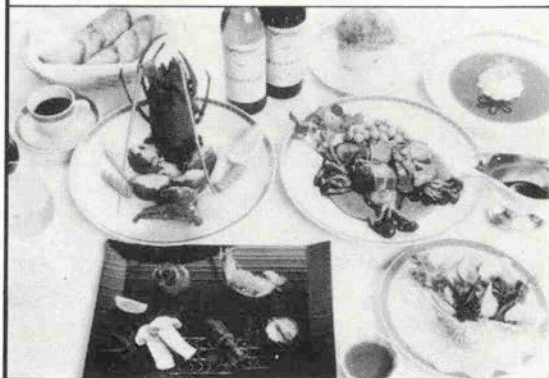
北 欧 の 銘 菓

## ユーハイム・コンフェクト

- 本社・工場・熊内店 神戸市中央区熊内町1の8 (市立美術館東隣) ☎221-1164
- さんちか店・神戸デパート・神戸大丸・そごう・阪急デパート・元町店・六甲道店
- 須磨パティオ店

和風フランス料理

# 秋味一席 10月1日~11月8日



### ●メニュー

和風オードブル  
トリュフスープエリゼー風  
伊勢海老の共殻焼き  
または  
神戸肉ステーキの松葉焼き  
サラダ  
ブランマンジェフランソワーズ  
アーモンドティール  
コーヒー

お一人様10,000円(税・サ込)

ファッション・バッグ プレゼント付  
ご来館の際はあらかじめお電話でご予約  
くださいますようお願いいたします。

時間 神戸 / 12:00~14:00 17:00~22:00  
六甲 / 12:00~14:30 17:00~21:30

## 神戸オリエンタルホテル

〒650 神戸市中央区京町25 ☎(078)331-8111

## 六甲オリエンタルホテル

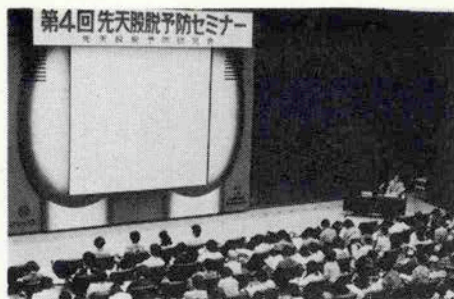
〒657-01 神戸市灘区六甲山町 ☎(078)891-0333

# 神戸おむつを考える会

荻原 一輝（荻原整形外科病院院長・先天股脱予防研究会会長・  
神戸おむつを考える会会長）

もう六年も前になる。当時生田保健所の婦長だった梅村さん等がおむつとおむつカバーと教材用の人形を持って、突然に私の診療所に入ってこられた。これがこの会の始まりであった。

問題は先天性股関節脱臼（生まれつき股の関節がはずれている病気で、びっこになったり痛みがでてきたりする。日本はこの病気の多発国といわれている）の予防におむつやおむつカバーが関係するのではないかと、そしてこのために股オムツを使うとよいといわれる



7月4日に催された第4回先天股脱予防セミナー

が、これを使うと便やおシッコが洩れて困る。何とかその対策はないか？というのである。

友人や知人を頼り、とに角このような問題を解決するために相談しようという会がつくられたのが本会である。メンバーは多士彩々この写真に県立こども病院整形外科医長香川先生のハッキリボーイの姿がないのが淋しい。（只今学会のため旅行中）。往年の梅村婦長、今は神戸市を退職されて尚健在、現職の保健婦さん、看護婦さんの顔がある。そしておむつカバーのメーカーの方々、乳児用品のリース会社も加わっている。総勢二十五名が現状である。省みるとこの六年間、まずよく勉強した。医療関係者は視野が狭いとよくいわれるが、その言葉の意味がよくわかったし、それぞれに他の業界のことをよく勉強した。

つまり「洩れない。むれない」そして私共の目的である「赤ちゃんの下肢がよく動く」おむつやおむつカバーをつくるために、毎月一回の例会がもたれた。そしてこ

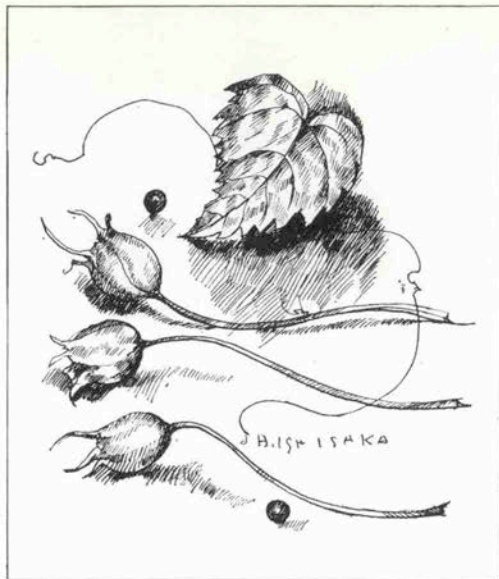
れは単に、机上の勉強だけでなくお互いの日常の仕事の中で赤ちゃんに接し試用が繰返された。一方ではメーカーに接触して新製品の開発を求め、デパートに出かけてお母さんに話しかけ、新聞に接触し、市内の保健婦、看護婦にも講習会を開催してきた。

たまたま全国各地で同じような試みの下に先天性股脱予防への歩みがすすんでいた。（しかしその多くは保健所中心、病院中心である）この人達と一緒にあって、大きく全国を対象に先天股脱予防セミナーが毎年行われている。名古屋、東京、大阪に続き本年はポルトピアの年でもあり、神戸国際会議場で開かれた。この原動力は、この「おむつを考える会」である。

いまや全国のおむつカバーメーカーが神戸に寄ってきたり連絡をしてくれるまでに成長している。さらに赤ちゃんの足を守るためにベビー衣服のメーカーにも接触を開始し、新製品の市販が始まった。しかし先天股脱の予防の仕事はまだまだである。市内でもまだ三角おむつをしている赤ちゃんが残っている。

私共はこの歩みを止めることができない。

■神戸おむつを考える会／〒650神戸市中央区北長狭通5-13 5 荻原整形外科病院内  
☎078・351・5751



ペルシア美術の蒐集家として、また日本通のアメリカ人として、かねがね噂に聞き及んでいたジェイ・グラック氏の芦屋のお宅を訪れた。外見は灰色にすすけた洋館なのに、奥へ通されると立派な床の間つきの広い座敷と次の間が境の間仕切りをとりはらわれて、長方形の一つの広間を形づくっている。

畳の上には小ささまざまなペルシア絨毯が敷き詰められ、床の間や違い棚、飾り棚などに、つまり広間の周縁いちめんに、古さびた素焼の土器や陶器の壺や鉢、瓦などがならんでいる。それもただ飾ってあるのではなく、博物館のように日本語と英語でちゃんと説明がついている。たとえば注ぎ口が鶏の頭部を象どったみごとな水差しには、英語の説明とならんで、

ラストー彩鳳首水注グルガン十三世紀

とある。cockheadを鳳首と訳すあたり、なかなかのもの、と感心して眺めるうちに、グラック

連載エッセイ

折々の神戸〔Ⅵ〕

愚楽亭

訪問記

多田 智満子 詩人

絵 / 石阪春生

氏が姿を現した。

端然と膝に手をおいて正座した姿は、ジェイ・グラック氏というよりまさに（表札に記された通り）愚楽自楽氏と呼ぶにふさわしいが、それもそのはず、氏は裏千家の家元と親しく、茶道の心に深く通じておられるらしいのである。

なぜ特にペルシア美術に魅せられたのか、それが私のいちばん知りたいことだったが、私の間に對して、ペルシアは美しいから、という答が返ってきた。私は重ねてきいた。

——美しいといっても、古代中国の美術も美しいし、ギリシア彫刻などは誰が見ても美しいでしょう。なぜ特にペルシアなのですか？

——ペルシアは自然なんです。心があります。ヒューメインです。（ヒューメインー人情味がある

とでも訳そうか。）ギリシアのはロボットみたい。実物そっくり。写真みたいです。

ギリシア美術をロボットとは。私は笑いかけた



が、同時になるほどと思った。視覚的な理想美を追求して人体各部の比率をきめたり、黄金分割を考えたりしたギリシア人の感性はたしかにあまりに機械的といえるかもしれない。

——ギリシアのやり方をおしすすめると、当然、機械文明になります。ペルシアはもっとヒューメインです。

ここでグラック氏は押入れの中から、馬をデザインした古い角型に近い大盃を二個もち出してきた。一つはきわめて写実的に馬の頭部を模した陶器で、これは紀元前四世紀のギリシアのもの。もう一つは馬の前半身を盃の形にした素焼の土器で、時代は聞きもらしたが多分紀元前十世紀頃のものであろう。これは写実的でなく素朴に抽象化されているが、氏によるとこの方がずっと「馬の感じがよく出ている。ギリシアのは馬の写真みたい」で心が不在である由。

その素焼の馬の胸さきに小さな孔があいているのは、この小さい呑み口から吸うと、ぶどうの皮などのカスが濾せて液体だけが口に入るのだそう。したがってこの盃は当然、濾し器が発明される以前の古い時代のものにちがいない。

その素焼の大盃を手でなでまわし、私にも渡してさわらせながら氏は語った。器というものは手でさわって楽しむのです。わたしはそのことを茶道をやっではじめて知りました、と。

ちょうどその少し前、奥様のスミ夫人が運んできて下さった冷茶のコップはとても美しいものでその上まいるでこぼこの具合がじつにさわり心地がよく、私はしきりにそのコップを愛撫していたところだったから、「器は手でさわって楽しむも

の」ということばが素直に納得できた。その味わい深いコップは氏の友人のペルシアのガラス細工師の手造りで、正倉院の瑠璃ガラスの色調を模したものであるという。

——手造りです。マスプロだめ。日本の会社は何百ダースも注文しても、この人ことわります。同じものの沢山造るのは退屈ですから。

ペルシアの古い焼き物のなかでもいちばん好きなのは、紀元前八〜十世紀頃の素焼の土器だそう。だ。そういえばこの広間のいちばんいい場所、つまり床の間に数点飾られてあるのがそれらお気に入りの素焼の鉢や水差し類である。

色物——つまり油葉うづはのかかった陶器も、古さびてじつにいい色になっているのがあった。長年土に埋っていたために青釉せいうゆうに化学変化を生じ、銀化しているのだそうである。グラック氏はハンカチをコップの茶でぬらして、青釉の盃を拭ってみせた。白っぽくなった青緑の表面が、濡れるとつややかなトルコブルーになった。ああ美しい、と私がつぶやくと、これがもとの色、と氏は満足そうであった。

スミ夫人は夏用のおうす茶碗のような形の青釉の小鉢をもってきて、私に匂いをかがせた。

——土の匂いですよ。長い年月土に埋っていたから。

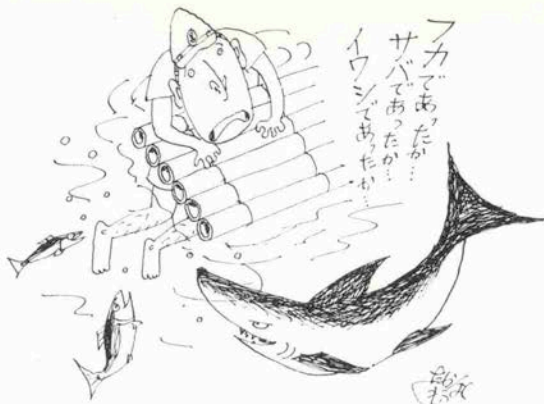
——匂いをするからお茶に使えない。とグラック氏。匂いをとるには長時間水で煮るのだそうだけれども、幾世紀もかけてしみこんだペルシアの土の匂いは、グラック氏にとってむしろいいおもしろいものであろう、と思われた。

□エッセイ□

# 正直な話

高橋 孟

△漫画家△



●「海軍めしたき総決算」は「海軍めしたき物語」の後編として発売中。ベストセラーをつづけている。  
△新潮社編△

私のほんの一部分の体験談「海軍めしたき物語」が馬鹿当りをして、版元の新潮社も驚いたそうだが、それより驚いたのは著者本人だった。

そもそもが、雑誌「面白半分」に何の気なしに書き始めたのがきっかけだったが、本になると思ってもみなかったからである。作家の田辺聖子さんがその「面白半分」の編集長を引受けられたとさだった。ある神戸のスタンドで、私が、酒の肴に海軍の昔話をしていたときからはじまるのである。海軍といっても、私の場合は主計科（めしたき兵）だったので、飛行科や、兵科のような勇ましい話が出来るわけもない。「熟年」の誰れしものが話す戦争ばなしなのだが、その中で私の唯一の取って置き箇所は、フカに咬まれたくだりだった。数多い戦争体験者の中でもフカに咬まれて生残った者は数少ない筈だ、と思っていたからである。私は右脚を咬まれたのだが、海軍からの公報は「南支那海ニ於テ敵潜水艦ト交戦中右大腿部重傷」となっている。何処にもフカに咬まれたとは書いていないから、勇ましい話にするなら、魚雷が足にあたったと言ったらオーバー過ぎるが、せめて、「魚雷の破片が当って一瞬にして太腿の肉が無くなっていたんだ」と、嘘をついても話は出来るというものである。正直言って、終戦直後の私は、フカに咬まれた話は意識的にしなかった。出来るだけ公報に合わせていたのを思い出すのである。それを、聞いていた人は、きっと、「魚雷の破片のあたるほどの近くにいた者が生き残れる筈がないぜ」と疑いの目で私の顔を見ていたに違いない。とかく、戦争の昔ばなしは、著者本人がそうであったように、美化され勝ちになる。



そこに、目撃者がいるわけもなく、ちょっと修正すれば少しはカッコよくなるからである。ところが、この「ちょっと」が真実を根本的に崩してしまっているのである。とは言っても、真実を伝えるのは難しい、果して私の右脚の肉を取っていったのがフカであったかどうかを問われると返事に困る。私は、暗闇の海で、確かとフカの顔を見たのではないからだ。読者のお手紙に「それは海へびではないでしようか」とか「フカのヒレで肉を削がれたのではないか」と、色々教えていただいたりしている。いずれにしても、酒友のカモカのおっちゃんが冗談にいう「鯖が咬んだ」のではない筈である。私は、その時「フカだー！」と叫んだのは事実である。

前著「海軍めしたき物語」に引続いて今度、続編ともいふべき「海軍めしたき総決算」を恥ずかしながら……出させてもらったのだが、これも、何もかも正直にお話したつもりである。全国の読者から思いもよらぬ沢山のお手紙を戴いて感激すると共に、その内容の正直で、温かいことに感動を覚えるのである。前著の下級兵当時の事に関してはある主計少佐（当時では雲上人）からのお便りに、「小生が経理学校生徒時代の軍事学と陸戦の教官（当時少佐）であった少将から電話があり、海軍めしたき物語という本を読んだか」といわれるので、

△読みました、私も分隊長や主計長をやり部下の事は知っているつもりでいましたが、あの本を読んで、何も知らなかった事が判り主計兵達に申し訳ない気がします△と申し上げたら△その通りだ△といっておられました」

と、あった。勿論、私の上官ではないのだが、海軍組織の上層部（特に生徒出身者）が下層の事を知らなかった事に一瞬驚いたのだが、戦後三数十年も過ぎた今、謝意を含めたそのお手紙が心嬉しく、その後も文通を願っているのである。ある意味では、職業軍人も体制内の犠牲者だったと思うこの頃である。

正直に書かれたお手紙には涙するものがある。ある兵科の下士官の方は、

「私の弟も海軍に憧れて入団しました、十八志です。防府の通信学校に在学中、一度面会に行きました（此の志願には反対したのですが本人はきき入れませんでした）ところ、私の顔を見るなり男泣きをして、兄貴、海軍などくるのではなかった兄貴の反対した気持が今解かる」と申しました、当時の私が弟に伝える言葉は、軍服を着てから、そんな泣言をいっても何もならぬ、今は練習教程を努力してやれ、と、いう事でした。その弟も此島で戦死、十九歳でありました」（各々原文のまま）

この、弟さんの戦死の情況はわからないが、生きて帰られた兄さんの、今の気持が痛い程わかるのである。あの当時の海軍志願兵募集のポスターには凛々しい少年兵が軍艦旗を背に手旗をかざしている絵が描かれていた。が、入団したら夢が破れるのに三日もかからなかったのが私達だった。又、小学生からもらった葉書に、

「戦争はカッコイイものと思っていましたが、こんな色々な仕事をしている人もいたのですね。旧兵のシゴキにびっくりしました」

と、たどたどしい字に実感が籠っていた。

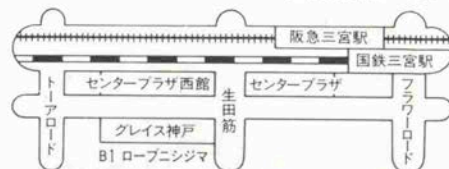


普段着は、  
クリーニング屋さんへ。  
おしゃれ着は、  
ローブニシジマへ。



#### サービス内容

●型くずれの防止 ●素材感の回復 ●お客様  
のお好みに合せた仕上 ●カルテの作成 ●フ  
ァッション、クリーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目11 グレイス神戸B1

お電話で一度お話しください—  
Phone.(078)332-2440



# イヌが家畜の島

石森 秀三△国立民族学博物館助手▽

ミクロネシア・カロリン諸島の  
ほぼ中央に、サタウル島という、  
サンゴ礁の島がある。周囲六キロ  
メートル、人口五〇〇人という、  
小さな島である。

この島に行くには、数カ月に一  
度、生活必需品をはこぶ、オンボ  
ロ貨物船に便乗し甲板で最低一〇  
泊する覚悟が必要となる。その意  
味で、まさに絶海の孤島といえ  
る。

わたしは、この島で約一年間に  
わたって、伝統文化の民族学的調  
査をおこなった。島の男たちと同  
じように、フンドシ一本になって  
島の文化を理解しようと試みた。

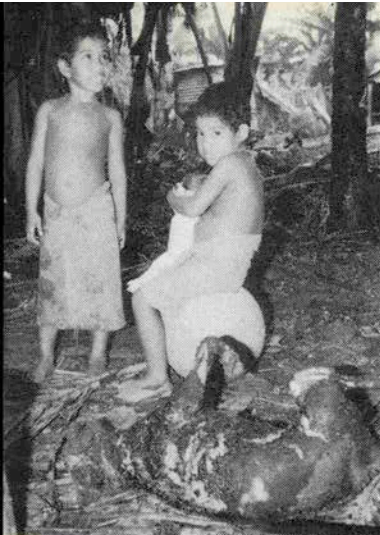
島で少しくらしてみようと、日々  
の生活のなかで、「男の世界」と  
「女の世界」が明確にわけられて

いることに気がつく。すくなくと  
も、昼間は男と女がいつしよにい  
ることはまれである。男は漁撈や  
カヌーづくりなどをやり、女は料  
理や育児に専念する。

島の男たちの最大の楽しみは、  
ヤシ酒をくみかわすことである。  
午前中、仕事をおこなったのち、  
午後から夜にかけて、酒盛りがつ  
づく。そんなある日、わたしも酒  
盛りの仲間入りをした。そのとき  
一人の男が、こんがり焼きあがっ  
た肉のかたまりをもってきた。わ  
たしにも一口たべろというので、  
ナイフできつてもらってほおぼつ  
た。資源にとぼしい島なので、肉  
をたべるのは久しぶりのことであ  
る。とてもおいしい。しかし、ブ  
タ肉にしてはあっさりしすぎとい  
るので、問いただすと

イヌの肉であるとい  
う。それをきいたとた  
んに、なんともいいよ  
うのない嘔吐感におそ  
われた。遠慮せずにも  
つたべろといわれた  
が、丁重にことわるほ  
かなかった。

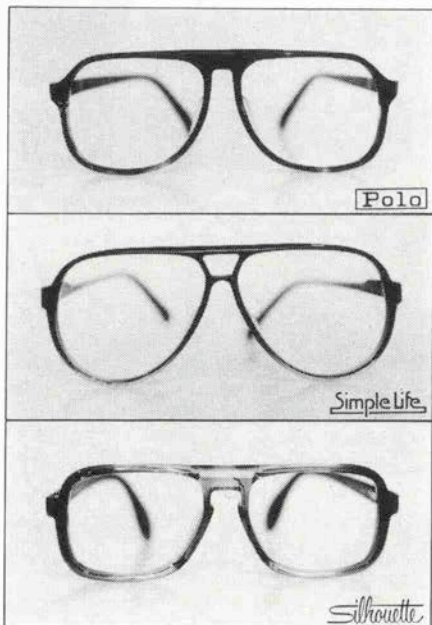
太平洋の島々では、イヌがブタ  
やニワトリとともに、貴重な家畜  
であることは常識である。現代の  
めぐまれた日本人にとって、イヌ  
は愛玩の対象とはなりえても、食  
欲をみたく対象とはなりがたい。  
しかしだからといって、イヌをた  
べる人たちを一方的に野蛮とみな  
すのは、まちがいである。それぞ  
れの民族なり社会には、それぞれ  
独自の文化（価値体系）がある。  
イヌをたべない文化もあれば、イ  
ヌをたべる文化もある。自分がイ  
ヌをたべないからといって、イヌ  
をたべる人たちを非難するのは、  
この地球上にただ一つの文化の存  
在しか認めないのにひとしい。世  
界には多数の民族がおり、それが  
多様な文化をはぐくんでいる。  
しかし一方、人間は悲しい存在  
であり、一度身につけた文化を容  
易に消し去ることができない。イ  
ヌをたべない文化を身につけた、  
わたしは、それがイヌの肉だとわ  
かってからたべ続けることができ  
なかった。けれどもイヌをたべる  
人たちを非難したことは一度もな  
かった。資源に乏しい島にくらし  
てみると、イヌが貴重なタンパク  
源であることが容易に理解できる  
からである。サタウル島のイヌに  
よって、異なる文化を理解するこ  
との、難かしさと大切さを教えら  
れたわけである。



こんがり焼きあげられたイヌ（筆者撮影）



秋を演出するフレーム。



セル フレーム

落ちついたなかにもスポーティでカジュアルな感覚が  
あふれる、さわやかな落ちつきを印象づけるフレームです

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎ (321) 1212 代表

三宮店・さんちかタウン ☎ (391) 1874~5

元町店は毎水曜日が休みです

三宮店は第2、3水曜日が休みです

陶 芸



古川軒

ニューセンタービル  
(三宮センター街1丁目)

電話 (078) 331-2813



● 営業時間 10:30AM~7:00PM  
● 第2・第3水曜日定休日

## 経済ポケット ジャーナル



### ★神戸沖新国際空港誘致 へ力強くダッシュ

神戸沖に新国際空港を――  
社団法人神戸青年会議所  
(JYC)は、十数年来、一貫して神戸沖への国際空港誘致の声を上げつづけて来たが、このほど、「海から空へ」神戸と新国際空港」を同JYCの編集で刊行した。

「海から空へ」表紙



同書は、なぜ神戸に国際空港が必要なのか、を一般市民向けに分りやすく編集したもので、単なる空港の解説書とは性格を異にす。

全体は10章に分かれ、神戸の歴史、神戸の現状、神戸の将来が平易な文章で綴られ、一読すれば、神戸のすべてが分るという格好の

手引であると同時に、空港誘致を熱っぽく説く各界各層の生の声、座談会、さらに世界の都市と空港、航空機の発達などが満載され、最後を神戸JYCの神戸沖案で締めくくる。空港に関心のあるなしに関わらず一読の価値があるといえる。

四六判二五六頁千円。

### ★森本倉庫が新たに建設

三宮国際ビルディング

三宮駅前に三宮ビル北館南館、西館東館とターミナルの建設を続け、都市づくりに積極的な姿勢の森本倉庫株式会社(森本領二社長)が、この程、磯上公園の西南に「三宮国際ビルディング」を建設する。

同ビルは竹中工務店の設計・施行により57年9月に完成、地上11階建、敷地面積一四、四〇〇平米、延床面積二九、一三〇平米という規模で三宮ビル同様オフィスビルとして使用される。

森本倉庫ビル事業部で

はこの界限を新しいビジネス・スタウンとして再開発する計画で、同ビルの建設はその第一弾。

貸ビル経営には実績のある同社だけに早くも在神の各企業から問い合わせが相ついでいる。

三宮国際ビル、所在地(中央区浜辺通2丁目)専用電話(231)5931



### ★三宮での買物は クレジットカードで



た、3カ月ごとに20万円、年間最大80万円のキャッシングサービスも付加されている。植村理事長は「若い人にも買物がしやすくなると思うので、ぜひ会員に」と意欲的。ユニークなシステムが注目されている。

三宮の商店の若手経営者

たちで組織している「たけのこ会」(植村孝二理事長)が信販大手のライフと提携して、与信限度額が60万円と高く、金利が安いクレジットカード「VIP・LIFE三宮カード」を発行。このカードは、婦人・紳士服飾、宝飾、書籍、飲食などたけのこ会加盟の54店舗で利用できるもので、最高20回までの割賦も可能。5回払いまでは金利はなし。また、3カ月ごとに20万円、年間最大80万円のキャッシングサービスも付加されている。

### ★KOBEOフィスレディ



▲株式会社パール企画部V  
ジュニア対象のブランド「ボベ」のデザインを担当。少し前までは仕事が楽しかったが、今はどちらかというと「しんどい」先のことは全然見えないが多分将来もこの仕事を続けるだろう、と呟く。暇な時はロックに旅行にと一時もじっとしていない活動的な女性。「必殺遊び人みたいに書かないで」と釘をさされた。



# 日本は世界の期待に 応えなければならぬ

八月二十四日から三日間、ポートアイランドの国際交流会館で、「地球コミュニティ会議'81」が開かれた。今回が第一回だがテーマは「アジアの企業家と国際協力」。R・S・マクナマラ前世界銀行総裁の基調講演「地球開発と資金動員」で会議は始まり、連日熱心な討論が行われた。小誌では、これを機会に会議での報告者にお集りいただき、日本あるいは神戸に対しての忌憚のないところを伺った。

デレク・デービス（香港・イギリス） R・G・ジャクソン（オーストラリア） リム・キー・ミン（シンガポール） ニアム・トン・ダウ（シンガポール）  
ケンブリッジ大学にて修士号を取得。タインズランド大学卒業。七八年英 ニューヨーク大学卒業後、コロンビア マラヤ大学、ハーバード大学にて修士  
駐オーストラリア大使館などに勤務。連邦対日諮問委員会議長、七九年アジ 大学にて修士号を取得。現在、ユナイ 号取得。現在、シンガポール経済開発  
現在は、フア・イースタン・エコノミ ア経営研究所理事となり、現在、テス ティッド・オーバーシーズ・バンク取締役 庁（EDB）長官、シンガポール港灣  
ツクレビュー誌（香港）編集長。50歳。 ・ホルディング（株）会長。57歳。 役および中華総商會会長。54歳。 庁のメンバー。54歳。



地球コミュニティ会議 '81  
Global Community Forum

アジアの企業家と国際協力



スジョ・ホマルダニ（インドネシア） デービッド・シップ（フィリピン） スラ・サニタノント（タイ）  
陸軍幹部学校を卒業後アメリカにおいて フィリピン大学で理学士を取得。コロ ウィスコンシン大学にて修士・博士号  
て経済学を学ぶ。陸軍少将として軍隊 ラド・鉱業学校卒業。現在リサール商業 取得。タイ商務省顧問、タイ経済協会  
を退役。現在、国際戦略研究所名譽所 銀行頭取、ASEAN・日本経済協力 初代副会長ののち、現在、バンク・コク・  
長、開発プロジェクト査察総監。62歳。 会議のASEAN側副会長。 メトロポリタン銀行東京駐在員。42歳。

日本は世界に門戸を開くべきだ  
サニタノント 日本は、アジアの中で政治的、経済的、  
文化的な面において非常に重要な国です。過去において

貿易と投資の面でタイの一番重要なパートナーでした。  
しかし、アジアの国々が日本の経済面に対して、いつ  
も日本側が利益を多くとっていると感じているのは否定



できません。私は、日本はアジアに充分寄与していると感じています。しかし、我々の原料、市場なしには、このような急激な発展はできなかったでしょう。それにアジアの多くの国々の人々、政府、民間、学生などは、経済面において、過大な利益を日本は得ていると感じています。一九五〇年代は、日本もアジアの発展途上国も一緒でした。それは理解できます。しかし現在では、日本は経済大国です。いろいろな期待がよせられるのは、自然なことだし、日本が援助すべきだということは正当化できます。援助というのは、何も事務的に、公的な貸付けをすることには限りません。最も重要なことはアジアの国々に対して、日本がもっと市場を開放すべきだと思います。今の日本の世界での経済的位置から考えると、市場をもう少しオープンにする必要があると思います。次にアジアの国々の工業化に対して、投資をもっとすることによって、援助することです。

現在、日本はアメリカ、ヨーロッパに多額の投資をしています。アジアの国の発展、ひいては日本の利益のためにアジアに投資をすべきだと思います。投資によるアジアの産業化、工業化が大事だと思われます。問題は以上のべましたが、それに加えて、多方面にわたる技術の指導が充分でないと思います。訓練、または、そのための特別の学校をつくること。以上のことを日本に期待します。今のままでは、日本とアジアの国々の経済的なギャップは広がるばかりです。日本の経済的繁栄を考えると、他の国とのギャップをうめる義務が日本にあると思います。

シシツ 日本政府も私の国の政府もいろいろな形で相互関係に影響をおよぼすことができます。例えば海外投資をさかんにするよう指示、またはその逆をすることができる。だからといって、これがすぐに両国の友好関係に結びつくものではありません。

また私は日本の企業は自分流のやり方でしかやってくれないという不満の声もよく聞きます。人間はもろん

頑固ですから、どこの国であろうとヨーロッパの人であろうと同じでありましょう。しかし共同（合弁）の会社である限りそれなりの配慮がなされるべきでしょう。

一般的にいつて問題点といえることは、日本のパートナーは経営の面に多すぎるといえます。それはよいとして、日本からの重役達は多くの場合、日本側の利益のみを心配しているにすぎない。少しも共同の利益を考えようとしません。そして何か問題が起って決定を下す時は東京や大阪ばかりと連絡している。これは大きな問題です。共同の企業である場合は、あくまでもお互いの関係を第一とし、その利益のために協力し合うのが大事であると思います。

将来のプロジェクトですが、大きなスケールのものであるとしてASEAN中心のアジア全体の市場に関係のある大きなプランです。この方面に非常に有望な日本との共同の企業のプランがあります。小さなプロジェクトとしては日本の企業をアジアの開発途上国に移しかえること―途上国の有利な条件を利用することです。もし日本の企業をフィリピンに移して同じものをつくらうとすればコストは安くなる。自然に市場も今まで通り確保できるわけです。ここで合弁企業の可能性が出てきます。OEC D（経済協力開発機構）もこの可能性に注目しています。中・小のスケールでのプランを多く考えています。

ミン シンガポールには現在、約一、四〇〇人の日本人がいます。その意味からも日本とはビジネス的に、また、社会的、教育的にもすでに親密な関係ができております。日本政府はシンガポール政府に対して日本―シンガポール貿易センター、またコンピュータ訓練センターなどの設立を援助しております。貿易と技術の両面で援助がおこなわれていますね。

タウ アジアの国々のなかには、日本の経済進出に対して、ある種の緊張感のある国もありますが、シンガポールに関しては、その心配は全然ないようです。我々の今までの経済的発展は日本の支えによるものが多いと考

えておりますので、日本の進出を期待しております。政府間、個別企業ともにシンガポールへの投資を奨励しました。シンガポールに貿易社会をつくること、それに続く産業を盛んにすることに力を入れました。そして最近では人手のかかる産業ではなくて、高い技術の要求される産業、資本集中の企業、輸出入業に關して日本の投資家と協力して、政府も民間企業も、うまくやっています。経済を發展させるために我國の技術水準をあげることが今後の課題であり、そのために日本政府や民間企業がシンガポールの労働者の質をあげるための技術訓練の導入を盛んに行っています。ただ大きな問題があります。これはアジアの他の国々の意見ですが、日本への輸出に多くの問題があるようです。原料類の輸出には問題がないのですが、種々の製造品の輸出に關して問題があるようです。我々としては今後、両国間における投資—合弁会社の設立、もちろん一〇〇パーセント投資による大きくて特殊な技術を要する企業の進出も結構ですが、中・小のレベルでの、純粹にお互いの利益を考える合弁会社の設立も望ましいと思います。

ミン 未来のプロジェクトですが、技術や高度のテクノロジーを要求する企業、資本の集中するものなどを盛んにしていきたいのです。このために我々が第一にしなければならぬのは我々の労働者の技術的訓練であり、また技術のみならず、その精神面つまり勤勉さ、労働意欲、態度などを教育する必要があります。そのために日本が資金援助をしてくれば、それはシンガポールだけでなく日本の發展にもつながっていくと思います。いくら将来、投資をやろうとしても、それを受け入れる技術がなければ何なりません。

日本はいい意味でのリーダーになる必要がある

ジャクソン 日本のビジネスマンはもう少し、国際性を持つべきでないかと思ひます。これは、とても大事なことでだと思います。それに加えて大事なものは貿易制限を少

しゆるめることです。アジアの国では、そのことが大きな問題になっている。特に農産物、または種々の製品の日本への輸出がむづかしいとの不満がある。もう一つできることは日本の教育制度をもっとアジアの人々のために開放することです。今日聞いた話によると、今まで日本の教育をうけたアジアの人々は同窓会の調査によって数千人だそうです。それに較べてオーストラリアでは政府の費用で毎年三、〇〇〇人のアジアの学生をうけ入れています。今年は三、三〇〇人になります。日本でも、もっとこのような方面に力を入れるべきでしょう。

デービス 日本の文部省は大蔵省からもっとお金をもらって、外国人留学生を受け入れるための学校（大学）をもっとつくることが必要だと思います。

ジャクソン 外の世界から見ていると、日本の大学はとてども閉鎖された印象を与えています。ほとんどの文化国家では大学はたえず変化しており、学生や教授の交換は日常茶飯事です。もちろん外国生同士もです。もっと自由にやるのが、ひいては日本の教育、および發展のためになると思います。

デービス 過去において日本は、ある種の保護貿易主義をとっていた。戦争で打撃をうけたということ。その次は日本の経済は砂の上に築かれたようなもので、非常に不安定であると主張してきた。しかし、今や日本の経済が不安定で弱いという主張は、もう成り立たない。その日本の経済は弱いという主張が通らなくなった時から日本は次に「日本は違うんだ」ということを言い始めた。

「社会的、文化的にも違い、いろいろと適合していくのに時間がほしい」と言っている。このことはOECDの国々で不評をかつている。

ジャクソン 日本の持つ日本観とアジアの持つ日本観はどうもちがうようで、日本のまわりの世界は日本にある種のリーダーシップを期待しているが、多くの日本人は、まだその時期ではないと思っている。世界の期待には日本はまだ応えていないようです。



デービス 私はジャーナリストとして一五年間、日本がリーダシップを取るべきだと書き続けて来た。アジアの中で日本は北に位置しており、南北問題のかけ橋として重要な役割をはたすことができる。市場の発達した国々、つまりアメリカ、オーストラリア、ニュージーランドのグループの一国でもある。つまり東西の中間にも位置している。いろいろな意味でユニークな十字路にある。このようにユニークな位置にある日本が少しずつ独自の性格を出していくことは喜ばしいと思う。

ジャクソン 日本は日本人が考える以上に強力なのです。そして世界はその強力さにあうだけの責任を日本がとるように期待しているのです。

デービス 気をつけなければならないのは、日本の強力さに期待しているということに誤解がないようにすることです。日本のできるのは、このユニークな地理的、経済的条件を生かして、東西・南北のかけ橋として、役に立つ力を発揮することなのです。

ジャクソン 交換プログラムとして近年注目されているのに、このようなものがあります。二五才以下の青年であれば、だれでも大使館に行つて簡単な手続きで済むのですが、六カ月間、オーストラリアで働くプログラムです。大変評判がよく、もう何百人という人々がやっています。このようなプログラムこそ、将来、お互いの理解を深めるうえで有望であると思います。

デービス 今、外人が短期間でも日本で働くことは非常にむずかしい。もし、今いったようなプログラムをアジアの国々の人々にも可能にするならば、そして、その仕事によってちゃんと生活できるだけの保障をすれば、一番の民間同士の理解になるでしょう。

ジャクソン このプログラムが発足した時「仕事がいまぐさがるか」「法律にふれないか」などの心配がなされたが、特に神戸はオーストラリアと一〇〇年前に交易を始めた関係でうまくいっているようです。

デービス もし神戸がその伝統をもう一度見直して、独

自の立場で若い人々がオーストラリアかアメリカへ行けると同じように、この土地へ若い人々を呼び、勉強できるように出来れば素晴らしい。それができれば神戸が東京、京都、長崎などの他都市を啓発することができるでしょう。

神戸はコンベンションシティとしての可能性がある

サニタノント ほとんど神戸の町を見る機会がなかったのですが、それでも、今まで観察した点では、深く感心するところがありました。技術的に、人間の力によって、無から未来都市を創造したことは感銘をうけました。

国際会議場は素晴らしい施設だと思いますが、会議室が少しせまいと思います。大きなコンベンション（会議）を行う場合には、少し不便になるでしょう。例えば京都の国際会議場や東京の経団連ホールのような大きさがあればと思います。

シシップ 過去の経験からいえば大きな国際会議、例えばロータリーとかライオンズクラブの場合、三、四〇〇〇人の泊まれる施設が必要になります。

ミン 神戸とシンガポールは本当に兄弟港のような関係であると思います。神戸は日本でのコンテナ港として最大ですし、シンガポールは東南アジアで最大の港です。

シンガポールでも、海岸地帯に埋め立てをやっております。我々の埋め立ては小さな島から大きな島をつくるものです。このポートアイランドには非常に感心しました。つまり、なにもない状態から島を創り出したということです。まさに技術の集大成だと思います。

ダウ 神戸は一番古い、国際港として国外とビジネス関係を持つて来ていますし、国際会議を開くのは、ごく自然な土地であると思います。ビジネスも盛んですし、交通の便もよいようです。ホテルなどいろいろな施設も整っているのです。コンベンションシティとしても、すでに成功していると思います。

ミン シンガポールでは、観光促進理事会があり、その



中にコンベンションを促進する部があります。その部がシンガポールへのコンベンションを誘致するわけです。ですからこの理事会のメンバーは、ビジネスマン、医者、技師などの会合を積極的にシンガポールに呼ぶ努力をしているわけです。

ダウ それに加えて民間業者の中に、コンベンションのための種々の準備をする会社が増えています。政府は、コンベンションを奨励できても、それには限度があり、このような会社が良いコンベンションを行うために活躍しているのです。

ミン シンガポールも最近、国際空港（チャンギ国際空港）をつくっており、第一の滑走路は本土に出来、また海に人工島をつくることによって第二の滑走路をつくっています。ですから神戸も同様に埋め立てによって海上に空港をつくることができるかもしれません。

ダウ 国際空港について一言。世界の大都市には、ほとんど国際空港があります。日本でも東京にありますが非常に遠く、不便ですから、日本人、観光客、ビジネスマンたちは、二つの国際空港をもつことを望んでいると思います。もし神戸に国際空港があれば、こちらに来る方が東京よりも興味が持てそうです。

ホマルダニ 何もないところから都市をつくったのだから素晴らしいと思うし、ポートピアⅧのおかげで、神戸市も国際会議ができるようになったので、成功したケースと言えます。港や空港に近いことも大事です。それと同時に神戸市としての独自のアイデンティティーが必要でしょう。伝統の上に立った新しい都市として、オリジナリティーを打ち出すことがとても必要でしょう。

このコンベンションホールは、とてもよいのですがコーヒーション一つないのはこまります。ポートピアホテルまで、いつも歩いていかなければなりません。それに神戸の市民にも使える施設にすべきでしょう。

デービス 神戸はとても香港に似ています。人口の多いこと、山と海にはさまれていること、香港も現在、この

ポートアイランドのような人工島の上に成りたっています。このように島でなくて、そのまま山をつぶして土地を広くしました。九竜港に面した丘は昔九つの丘があったのですが、今は、もう一つ半しか残っていません。埋め立てに使ったのです。国際港を持ち、土地のせまい神戸は、ほんとうに香港に似ています。

ジャクソン 神戸は港や重工業や船舶業としてのイメージがありましたが、もちろん、ファッション都市としても成功すると思います。

デービス 私も同じように感じております。おそらく神戸は鉄鋼関係の低下で苦しんでいると思います。今、過去の伝統の上に、国際都市としての経験を生かして、ファッションやコンベンションシティとして、発展しようと計画されているでしょう。もちろん成功されると思います。次のステップは国際空港ですね。

サニタノント 神戸市との都市間交流につきましては、現在ある種々のイクスチェンジのプログラム、例えば、姉妹都市提携のような考え方は良い方法と思います。数日前、東京のテレビでみたプログラムに東京の子供達（小学校）を、数週間インドネシアで生活させるというのがありました。このような青少年や学生の交換プログラムは、とてもよいと思います。しかし、今度のポートピアⅧで、神戸は国際的にもよく知られ、またこのコンベンションも素晴らしい試みであり、人々を、この神戸に集め、お互いの理解を深めるのに役に立ったと思います。

シシップ 姉妹都市は市長やロータリーなどを通してできるでしょう。貿易のため使節を送ったりするのは商工会議所を通せば可能です。今まで福岡、名古屋、東京などから多くの人が訪れています。

ホマルダニ インドネシアと日本とは政府間でも商工会議所を通してでも民間レベルでも、一〇年以上にわたって会議、セミナーなど非常に活発な交流がおこなわれています。今後もそれが一層活発に続けられるであろうことを期待します。（ポートアイランドにて）

---

**田崎真珠株式会社**

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区旗塚通6-3-10  
TEL (078) 231-3321

---

**オールスタイル株式会社**

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町12-1  
TEL (078) 321-2111

---

**カネボウベルエイシー株式会社**

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

---

**株式会社ベニヤ**

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

---

**モロゾフ株式会社**

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594

---



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の  
企画は以上5社の提供によるものです。

●月刊神戸っ子20周年記念出版

# ALPHABET AVENUE



新井 満

〈文〉



石阪春生

〈コラージュ〉



二人の邂逅が火花を散らす

KOBEの摩訶不思議な幻想空間

〈アルファベットアベニュー〉

26色の道標。

●愛蔵本

26.3cm(ヨコ)×25.7cm(タテ)型

〈60頁ダブルトーン・コラージュ25枚入〉

¥ 5,000 (送料¥300)

協力 / 月刊神戸っ子 編集人 / 小泉美喜子

発行人 / 小泉康夫

発行所 / コミュニティサービス株式会社

神戸市中央区東町113の1 大神ビル7F

☎ (078) 331-2246 月刊神戸っ子内